

教育振興基本計画 パブリックコメント

	提出された意見	意見に対する市の考え方
1	<p>① より多くの人に読んでもらえるよう（特に若い人）に読んでもらえるようにするには、写真やイラストを入れていただきたいと思います。さらに、絵本や漫画本の概要版を作成することも考えていただきたいと思います。</p> <p>② 教育長のコラムについて、大変良いと思います。教育長の私見であると思いますので、その旨を加筆した方が良くと思います。また、子どもたちを取り巻く問題に市民みんなで考えていこうという「市民協働」の呼びかけを加えていただければと思います。</p> <p>③ 国際教育の視点について。今、世界各地で多くの戦争や紛争が起っています。さらに環境問題では、地球温暖化対策、生物多様性の危機など地球を守る行動が求められています。近年では、ESDやSDGsがクローズアップされています。ESDやSDGsの理念を学び、認識し、「人権」「平和」「環境」など国際的な理念を軸に行動する子どもたちや大人を育む視点の追加を提案します。</p> <p>④ 主権者教育について。新城市は2005年の合併後、自治基本条例の策定など、独特な政策を推進してきました。特に「若者議会」は日本で最初に設置され、近年では近隣の市でも同様のものが設置されています。新城市若者議会は、中学3年でも参加できるよう。まちづくりの主役は、大人だけでなく子どもたちでもあるということを知り、市政に参加し、行動する子どもたちや大人を育んでいただきたいと願います、主権者教育の追加を提案します。</p> <p>⑤ 今後、この計画の具体として、実施計画は策定されるのでしょうか。</p> <p>⑥ P12 家庭教育の支援のSTEPSに「保護者の声に耳を傾け、適切な支援に生かしていきます。」とあります。令和6年1月24日に女性議会が開かれ、その中で、「長期休暇中の児童クラブ」についての質問がありました。「こども園は7時30分から預かってもらえるが、長期休暇中の児童クラブは8時からとなり、こども園と同じように7時30分から預かってほしい」という質問がありました。市の答弁は、「人員の確保等のことから難しい」でしたが、これが「保護者の声」なのです。</p> <p>⑦ p13 命を守る教育について。2024年1月1日には能登半島地震が置きました。災害はいつ何時新城市を襲うかわかりません。「命を守る教育」は重要です。市内外の先進的な活動、取り組みを調査し、市のHPなどで、公開、授業や勉強会に役立てていただきたい。また、市の防災アプリ登録を授業で使用しているタブレットに入れるなど、大人も子どもたちにも積極的に防災教育に関与できるようにしていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。イラストは少しでも増やせるよう、検討します。概要版は、今後の計画の参考にさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。加筆を検討させていただきます。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。ESD、SDGsの理念は大切なものだと認識しています。今後の計画の参考にさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。本市における特徴的な政策で、大変重要な視点です。本計画に反映させることができるよう検討させていただきます。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。現在、実施計画を策定する予定はありませんが、計画の進捗状況は、1年ごとに検証をしていく予定です。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。現状では難しいとお答えさせていただいたようですが、担当課と連携を図り、保護者の声に耳を傾け、改善できるよう努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。本計画を実践していく際に、参考にさせていただきます。</p>

⑧ P14 安全安心で快適な学校施設の提供について。⑤として、「学校施設への太陽光発電パネルの設置」を加えていただきたいのです。それが非常用電力として機能すること、さらにZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）といった地球温暖化対策にも寄与することを、子どもたちをはじめ、地域の方たちも知ってもらえればと考えます。

⑨ P15 学校給食の充実について。今後の少子化や学校統合などを考えれば、将来の施設の在り方について、検討することは必要です。女性議会の委員の方からも「長期休暇中の児童クラブでの弁当について新設の給食センターで対応できないか」との意見もありましたが、市の答弁は後ろ向きでした。女性議会委員の声に真摯に答えていただきたいのです。それが市民自治です。

⑩ P16 部活動地域移行への着手について。教育長のコラム2「これからの部活動」に「今年（2024年）9月から部活動を平日に2回…」と記述されています。このことは、奥三河音楽連盟に知らされていません。スポーツも同じでしょうか。今後、奥三河音楽連盟をはじめ、各音楽団体はどのようにすればよいのか、地域移行とは何なのか、移行過程のサポーター教員とはどのような存在なのかなど、「協働」するために早急に話し合いを持っていただきたいのです。

⑪ P21 学びの場をコーディネートする人材の育成について。コーディネーターとは何か。仲介者なのか中間組織なのか外部の人なのか新城市内の人なのか、わかりません。そして、どのように育成するのか、具体的にどこでどう示されるのでしょうか。

⑫ P25 文化芸術活動を支える人材の確保と育成について。将来的に文化芸術を支える人材とは具体的にどのような人なのか、どのように確保するのか、育成するのか、具体的な記述は今後あるのでしょうか。

⑬ P29 ③普及周知の推進について。今や、デジタル社会において、普及周知には、もちろんSNSの活用は重要ですが、加えて、今後博物館に訪れた方へのバーチャル映像案内などの導入も考えたらどうでしょうか。

④多様な主体との連携について。多様な主体との連携する仕組みとして具体的な方策があるのでしょうか。教えてください。

貴重なご意見、ありがとうございます。市内一部の学校では太陽光発電パネルはすでに設置されています。さらに充実できるよう今後の計画の参考にさせていただきます。

貴重なご意見、ありがとうございます。施設活用については、今後議論を重ねてまいります。参考にさせていただきます。

貴重なご意見、ありがとうございます。各種音楽団体、スポーツ団体との連携は必要不可欠です。パブリックコメント募集期間中に、音楽団体の方たちには、部活動地域移行について、説明する機会を持たせていただきました。今後も、積極的に情報提供をし、連携を図ってまいりたいと思います。

貴重なご意見、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。具体化をし、提示できるよう努めてまいります。

貴重なご意見、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。具体化をし、提示できるよう努めてまいります。

貴重なご意見、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。具体化をし、提示できるよう努めてまいります。

2	<p><新城教育憲章について> とても素晴らしい内容であると思います。文の内容は素晴らしいです。</p> <p><『新城の三宝』自然・人・歴史文化の再構築について> 新城市に転居を決めた理由は、美しい自然と人間味ある地元の方々、歴史・文化を感じたことなどもあります。特に奥三河の自然の素晴らしさには驚かされました。しかし、暮らしていく中で、川沿いや田畑の間に太陽光パネルが大量に存在することを発見してはショックを受ける日々です。太陽光パネルは見た目にも自然と相いれませんが、土砂災害などで押し流された際に厄介なことになったと能登半島地震では言われています。また、山奥に巨大風力発電施設建設の予定案があることを知り、更にショックを受けました。『新城の三宝』の一つである自然が破壊されている。破壊されて行く。子や孫たちに、美しい自然を残すことは今を生きる大人たちの使命と思います。再エネによる自然破壊を食い止めるべきではありませんか。</p> <p><給食の充実について> 給食はセンター式導入と知りとても残念に思いました。地震や大雨などで土砂崩れや橋の崩落が危惧されます。それぞれの地域が孤立状態になりセンターから給食を運ぶことが困難な時はどうするのでしょうか。地域に根差した細やかな給食の提供が終了してしまうこともとても残念に思います。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。教育憲章の精神を忘れず、日々の実践を重ねてまいりたいと思います。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。自然は、「三宝」の字のとおり、新城の宝であると考えています。できることを精査し、失われぬよう努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。参考にさせていただきます。給食センター運用の際、災害発生時の対応も十分に考えながら運用してまいります。</p>
3	<p>【不登校児30万人時代の学校改革を】 フリースクールがなく、不登校児童が通う外部機関が限られている新城市では、不登校児童がそのまま引きこもりになるケースが後をたたない。こうした「学校嫌いの子ども」に沿う学校改革が求められている。「学校の勉強はつまらない」「役立たない」と感じる子どもは多い。義務教育期間はとにかく「身につく学び」を徹底し、文書読解力を上げる基本を徹底していくべきではないか。また神経発達症の中にみられるLD児童に対応したカリキュラムやテストの作成が望まれるが、現実には未対応に近い。できる対策を早急に検討し、取り入れてほしい。いじめ問題などについては「間違い」を説く『道徳』ではなく「人はなぜ差別をするのか」といった本格的な『哲学』を導入してほしい。心を育てず知識だけを詰め込んだ教育の結果が今の日本30万人不登校時代を生み出した源である。「生きづらさ」と呼ばれる人間関係の苦しみを抱えた若者の自殺も先進国一位。学校改革、教育改革なくしてこの事態は変わらないだろう。次世代の好奇心や個性を潰さない学校改革・授業改革を切に願う。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。不登校問題は、本市でも最重要課題の一つであるという認識でいます。学校を魅力ある場所にするのが、解決の一手になり、そのために、個々の教師が力をつけるような取り組みをしてまいります。LDの児童生徒の対応について、道徳について、参考にさせていただきます。</p>